

膜工学セミナー「膜材料と透過物質の相互作用」

共催 化学工学会膜工学特別研究会 静岡化学工学懇話会、化学工学会東海支部
協賛 日本膜学会

日時 2003年2月5日(水) 9:20~17:00
場所 アクトシティ浜松 研修交流センター

<http://www.actcity.jp>

〒430-7790 浜松市板屋町 108-1 TEL: 053-451-1111

<交通> JR浜松駅より東へ徒歩約5分

趣旨 膜材料 透過物質間の相互作用を、専門の講師を交え多孔膜から非多孔膜まで広い範囲で発表議論しあい、膜分離性能高度化のための指針を得る。(一部英語講演を含む)

プログラム

- (9:20~9:30) 挨拶と趣旨説明(静岡大工) 溝口健作
- (9:30~10:10) 企業からみた分離膜材料開発における課題(東レ) 房岡良成
- (10:10~10:50) 精密濾過における膜-微粒子相互作用(神奈川工科大) 市村重俊
- (11:00~11:50) ゼオライト膜の構造と分離性(山口大工) 喜多英敏
- (13:00~13:50) Carbon Membranes for Gas Separation(Hanyang University) Y.M. Lee
- (13:50~14:30) 分離膜と計算機化学(大阪大基礎工) 古川信一
- (14:30~15:00) 膜-透過物質間相互作用の重要性(静岡大工) 松井誉敏
- (15:10~15:50) Use of Membrane-Penetrant Interaction for Isomer Separations(産総研) S.P. Kusumocahyo
- (15:50~16:30) 気体・蒸気分離膜の構造と分離性(明治大理工) 永井一清
- (16:30~17:00) 総合討論

定員 40名

参加費無料、資料代: 3,000円

参加申込締切 1月29日(水)

申込先 〒432-8561 浜松市城北3-5-1 静岡大学工学部物質工学科 溝口健作
TEL/FAX: 053-478-1192 E-Mail: tckmizo@ipc.shizuoka.ac.jp